エアブレーキシステム市場：アジア太平洋地域の産業分析、規模、シェア、成長、傾向、予測、2023年から2027年

2023年09月08日（金）

Research
Nesterによるエアブレーキシステム市場規模の分析により、市場は2023年から2035年の間に約6.31%のCAGRで成長し、2035年までに約126億7,000万米ドルに達すると明らかになりました

Research
Nesterは、自動車事故の増加と自動車の安全性を確保するための政府の取り組みの強化により、世界のエアブレーキシステム市場の成長と市場規模を評価しています。

ニューヨーク　2023 年 4 月 8 日　Research Nester
による最近の市場調査分析“エアブレーキシステム市場: 世界的な需要分析と 2035
年の機会見通し”
詳細な競合他社の分析と、タイプ、技術、コンポーネント、車両タイプ、および地域ごとの市場分

割の観点から、世界のエアブレーキシステム市場の詳細な概要を提供します。

エアブレーキシステムの世界市場シェア拡大を目指して交通事故死者数が増加
世界のエアブレーキシステム市場は、自動車事故を減らしブレーキシステムを改善する政府の取り組みの高まりにより、大幅に成長すると推定されており、市場の成長を促進すると予想されています。
ブレーキは、車両同士の衝突を防ぎ、事故や車両の損傷を軽減することを目的としています。
エアブレーキは、トラック、鉄道、バス間の衝突を防ぐために使用されます。
WHOの統計によると、毎年約135万人が交通事故で亡くなっています。
ユーロスタットのデータによると、2020年にEUでは約1万8800人が交通事故で死亡し、そのうち44.2%が乗用車の運転手または同乗者、19.2%が歩行者であった。
さらに、ルーマニアでは2020年に交通事故で85人が死亡しました。さらに、欧州委員会は自動車と交通の安全性を強化するために、新しい車両一般安全規則を導入しました。 この規制は 2022 年 7 月に発効し、2024 年 7
月まで適用されます。一般的な安全規則には、自動ブレーキ、車線維持システム、速度支援、カメラとセンサーを使用した後退検知などが含まれます。

これに加え、乗用車や商用車などの車両販売の増加により、エアブレーキシステム市場の成長が

見込まれています。 米国におけるゼロエミッションバスの配備は、2021 年までに約 27%
拡大し、3,500 台以上に達すると予測されています。 米国のフリートの 70% 以上がフルサイズ
ZEB を 10 基以下搭載しています。
その結果、フリートの拡張に対する差し迫った投資が重要になるでしょう。
これに加えて、世界の SUV 販売は 2021 年から 2022 年にかけて約 3%
増加しました。さらに、2022 年には世界の自動車販売のほぼ 46% を SUV
が占め、インド、ヨーロッパ、米国で最も急速に成長すると予想されています。

詳細レポートへのアクセス:
https://www.researchnester.jp/sample-request-4828

世界のエアブレーキシステム市場の成長に関連する主要な成長要因と課題のいくつかは次のとおりです。

成長の原動力:
　世界の自動車販売の急増
　車両の衝突を回避するためのブレーキシステムの進歩への取り組みの高まり

課題:
エアブレーキシステムの使用にはいくつかの特殊な方法がありますが、十分な知識がないと操作が難しくなります。
さらに、車両に使用できるエアブレーキシステムの代替品は数多くあります。
したがって、これらは、エアブレーキシステムの世界市場規模を妨げると予想される主要な要因の一部です。
一方で、頻繁なメンテナンスの必要性と高額な維持費も市場の成長を妨げると予想されます。
空気ブレーキ システムの修理は、より多くのコンポーネントを備えているため、油圧ブレーキシステムの修理よりも費用がかかる場合があります。 エアブレーキ
システムは空気を圧縮するため、湿気が発生します。この湿気はエア
ドライヤで除去する必要があります。
これにより、エアブレーキシステムのコストが上昇し、特に最初の 5
年間のメンテナンスと修理のコストが高くなる可能性があります。

詳細レポートへのアクセス:
https://www.researchnester.jp/reports/air-brake-systems-market/4828

車両タイプ別に見ると、世界のエアブレーキシステム市場はバス、トラック、鉄道車両に区分される。バスセグメントは、予測期間中に大幅なCAGRで成長することにより、2035年末までに最も高い収益を獲得すると予測されている。このセグメントの成長には、バスの流通量の増加が関係している。インド政府は、FAMEインド・スキームのフェーズⅡの一環として、様々な州や連邦直轄領に2435台の電動バスを配備した。さらに、2022年9月
　現在、約1200台の電動スクールバスが注文中、納入済み、または運行中である。米国では現在、約13,000台の電動スクールバスが導入されている。圧縮空気ブレーキシステムは、バスのような大型車両によく見られる摩擦ブレーキの一種である。バスは大型であるため、停止するのに多大な労力を要する。油圧システムでバスを完全に停止させるには、運転手はブレーキペダルに大きな力を加える必要があるが、他のブレーキシステムではほとんど不可能である。
地域別では、アジア太平洋地域のエアブレーキシステム市場が2035年末までに最も高い収益を上げる。市場の拡大が期待できるのは、ブレーキ・システムの改善と車両の安全性維持を目的とした政府の施策が増加するためである。インドの道路交通高速道路省によると、大型車には最新の

ブレーキ・システムを搭載することが義務付けられている。さらに、既存の車両は2021年4月から新基準への適合が義務付けられ、次いで2022年4月からすべての新車が義務付けられる。さらに、アジア太平洋地域における自動車販売の増加が、アジア太平洋地域の市場成長を押し上げる可能性が高い。中国の自動車販売台数は2022年までに9.5%増加し、電気自動車の購入台数はほぼ倍増する。さらに、2021年には中国で約5,600万台の乗用車が販売される。これに加えて、2022年には日本での自動車販売台数は約400万台、インドでの販売台数も上回り、新車販売台数は500万台近くに達する。

について Research Nester
Research Nester、戦略的な市場調査とコンサルティングのリーディングサービスプロバイダーです。私たちは、業界、コングロマリット、経営幹部が将来のマーケティング戦略、拡大、投資などについて賢明な決定を下すのに役立つ、公平で比類のない市場洞察と業界分析を提供することを目指しています。私たちは、すべてのビジネスが新しい地平線に拡大し、適切なタイミングで適切なガイダンスが戦略的な頭脳を通じて利用可能であると信じています。私たちの箱から出してすぐに使える考え方は、クライアントが将来の不確実性を避けるために賢明な決定を下すのに役立ちます。

【お問い合わせ先】
ナオミ コスギ
Eメール: info@researchnester.jp
米国の電話番号: +81 505 050 8480

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com